

学年		組		氏名	
----	--	---	--	----	--

- 1 0.4 mの重さが60 gの針金はりかねがあります。針金0.2 mの重さは何gですか。また、針金0.1 mの重さは何gですか。それぞれ答えを書きましょう。(H30)

針金0.2 mは0.4 mの半分なので、重さも半分になる。

このことから、 $60 \div 2 = 30$

よって、針金0.2 mの重さは30 gである。

また、針金0.1 mは0.2 mの半分なので、重さも半分になる。

このことから、 $30 \div 2 = 15$

よって、針金0.1 mの重さは15 gである。

別の解き方) 0.4 mの針金の重さが60 gであることから、針金0.1 m、0.2 mの重さを求めるために、まず0.1 mの重さを求める。

$$60 \div 4 = 15$$

よって、針金0.1 mの重さは15 gである。

この値を2倍すると、針金0.2 mの重さを求めることができるので、

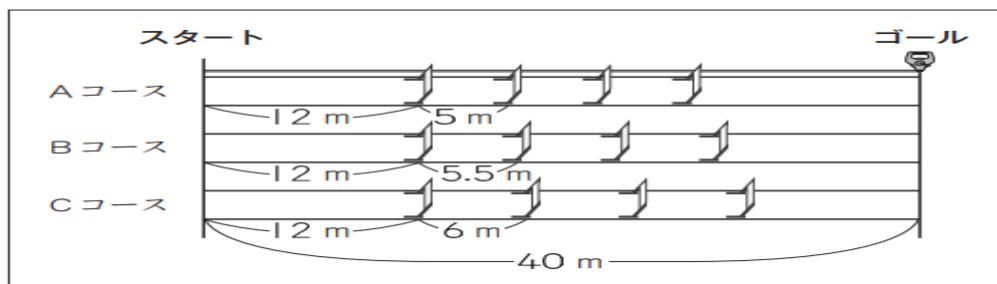
$$15 \times 2 = 30$$

よって、針金0.2 mの重さは30 gである。

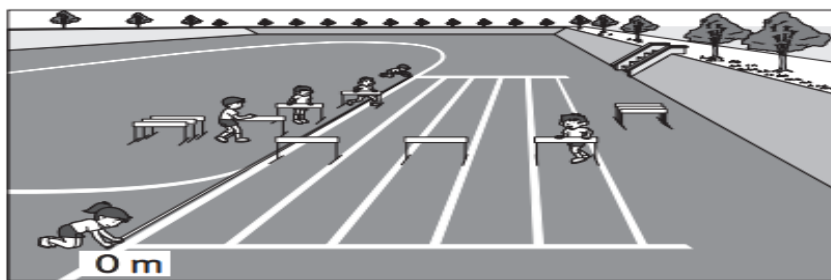
- 2 体育の時間に、40 mハードル走を行います。

次の図のように、ハードルとハードルの間がそれぞれ、5 m、5.5 m、6 mになるようにハードルを4台ずつ置いて、40 mのコースにA、B、Cの3つのコースをつくりま

40 mのコースにハードルを置いた図



こうじさんは、ハードルとハードルの間が5 mであるAコースの、スタート地点から4台目のハードルを置きます。



Aコースは、スタート地点から1台目のハードルまでが12 mで、ハードルとハードルの間が5 mです。

スタート地点に、巻き尺まきじゃくの「0 m」のところをあわせると、Aコースの4台目のハードルを置くのは、巻き尺の何mのところになりますか。

求める式と答えを書きましょう。(H28)

問題場面を図にすると、

スタート	1台目	2台目	3台目	4台目
12 m	5 m	5 m	5 m	
12	+5	+5	+5	
12	+5 × 3			

スタート地点から1台目のハードルまでは12 mであり、ハードルとハードルの間
が5 m、4台目のハードルまでには間が3あるので、

$$12 + 5 \times 3 = 27$$

よって、27 mである。